



# 遷喬小だより

10月号②

学校教育目標 **自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成**

学校スローガン **TEAM遷喬 PRIDE遷喬 ~子どもも 教師も 地域も 伸びる学校~**

## 自主公開授業研究発表会！

研究テーマ「主体的に探究する子どもたちの育成」

～「今、何ができるか」を問い続ける子どもの姿を目指して～

10月21日、甲南女子大学教授 村川雅弘先生を指導助言者としてお迎えして、本校の生活科・総合的な学習の時間を公開しました。

★2年：もっとなかよしまちたんけん～「まちのすてき」をみつけよう～

★6年：自分革命～将来への第一歩～

真庭市内だけでなく市外からも多くの先生方が参加してくださいました。本校の積み重ねが子どもたちの姿に表れてきていると多くの皆様に言っていただき、うれしく思っているところです。

授業反省や村川先生のご講演の中で、本校の成果についてお話をさせていただいたので、ポイントを紹介いたします。



<本校の実践のよいところ>

◎積み上げができています。1年生から朝のスピーチを継続している。

◎これまでの実践の反省を生かしながら、単元構想をバージョンアップしている。

（わらしべ長者方式の成果）

◎子どもの意識を高めるための手立てがなされている。

（修学旅行のしおり・・・中芝さんの仕事をメモするようにしている。）

◎学びの基礎を押さえている。

（めあてが明確（B評定 今日のゴール）、思考ツールの活用）

◎言語活動が充実している。

（おたずねする（質問し合う）ことで、学びが深まっている。）

◎目的意識を子どもに持たせている。「なぜ、おたずねするといいいのですか？」

◎おたずねの視点が明確（1H5W）になっている。

<今後の課題>

・深い学びに向けて、教師のファシリテーション力を磨いていくこと。

子どもたちの言語活動が活発化するように、今後とも、教師は子どもの意見を引き出す努力をしていきたいと思ひます。

今後とも、全ての学習の基盤になる生活規律・学習規律・学習技能（特に言語活動）について重点をおいて取り組んでいきたいと思ひます。

# 学校運営協議会 10月20日

学校運営協議会では、授業参観、地域学校協働活動、学校運営に関する意見書について協議を行いました。委員の皆様からいただいた意見や感想をお伝えします。

- ・ 駐車場から玄関までのあいさつが気持ちよい。(特に高学年)
- ・ 授業参観して楽しい。
- ・ 聴き合う・表現し合う姿を各学年ともに見える化している。心も含まれている。共感できる。
- ・ 体をしっかり向けて聴く児童が多い。聴き合う雰囲気すばらしい。
- ・ 単元構想を大切にしている。学習の見通しを持つことができる。例 学習計画を立てよう。
- ・ 掲示物から計画・経過・成果が見える。学習のプロセスを大切にしていることが伝わってくる。
- ・ 1つの取組から次の取組へとつながっている。
- ・ 学びに集中できている。落ち着いている。子どもたちで意見を回している。
- ・ お互いにアドバイスし合うことはとてもいいことだ。学び合いが高まっている。
- ・ 町探検では子ども目線でしっかり付箋を書いている。地域のことを学んでいる。とても大切だ。
- ・ 付箋が多い。一人一人を大切にしている。
- ・ 個性豊か。選択肢を多く設けている。
- ・ 多様性を認め合い、現在、求められている社会の変化に対応する力を育てようとしている。
- ・ 基礎学力・アドバイスし合う力・支え合う力・外国語活動・SDGs・チームワーク・デジタル化等に対応している。
- ・ 問題意識を持たせ、自己決定することを大切に子どもを育成しようとしている。
- ・ オープンスペースを有効に活用している。音に関しては、パーティション等の改善だけでなく、イヤホン(ノイズキャンセル)の活用を考えてもよいかも。じゅうたんは衛生的に課題だと思う。その他様々な施設課題があると思うが、教育環境整備についても引き続き市に要望して欲しい。
- ・ 運動会はみんな笑顔で意欲的に参加していた。簡略化の中でよく工夫されていた。アイデアが豊富だった。久世音頭も大事にしてくれている。色別リレーでズボンの紐が緩かった低学年の子に、先生が気付いてさっと結んであげていた。素晴らしい動きだった。細かいことだけでも、本当に大切なことで、それが先生に感心した。放送係素晴らしかった。応援係もよかった。職員のポロシャツも遷喬らしさが表現されたデザインでよかった。
- ・ 敬老席テントを増やした方がよいのではないか。運動会の歌は音源を新しくしてはどうか。
- ・ タブレット使用により楽しんで学習に向かっているが、反面、文章を書くことが減少していると感じる。
- ・ 表面上の見えない部分(子どもの中にある不安感、孤立感等)を、背景も含めて、常に気かけながら教育活動を進めてほしい。
- ・ 学校要覧に子どもの言葉のメッセージがあるとよいのではないか。
- ・ 鍋屋の踏み切りで自転車の児童が止まらず横断していた。手を挙げずに横断している児童がまだいる。
- ・ 保護者用スリッパを新しく歩きやすい物にしてはどうか。(落合中のスリッパはよかった。) 等

また、施設面についても、職員や来校者の駐車場確保に向けてご意見をいただきました。貴重なご意見をもとに何ができるか検討し、学校運営に活かしてまいります。

**久世祭り 3年ぶり開催！ 子どもたちも伝統文化を引き継ぎます！**